

高知工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	情報セキュリティセミナー
科目基礎情報						
科目番号	I4068		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	SD 情報セキュリティコース		対象学年	4		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材						
担当教員	西内 悠祐,岡村 修司,岩崎 洋平,浦山 康洋,藤田 拓雄,立川 崇之,山田 隆行					
到達目標						
【到達目標】 1. 主体的に課題に取り組む姿勢を持つこと。 2. 主体的に計画を立案し調査研究ができること。 3. 取り組んだ内容を要約して口頭及び文章で報告できること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
実行力	主体的に課題に取り組み、正しく解決することができる。		主体的に課題に取り組む姿勢を身につけている。		主体的に課題に取り組む姿勢を身につけていない。	
主体性・システムとして物事を考える力	主体的に計画を立案し、正確かつ詳細に調査研究し、課題発見を実践することができる。		主体的に計画を立案し調査研究ができる。		主体的に計画を立案し調査研究ができない。	
発信力・論理的な呈示力	取り組んだ内容を要約して口頭及び文章で、正確かつ詳細に報告できる。		取り組んだ内容を要約して口頭及び文章で報告できる。		取り組んだ内容を要約して口頭及び文章で報告できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 (E)						
教育方法等						
概要	5年次の卒業研究への入門として、少人数のグループで、課題にあたらせるグループ・プロジェクトを中心とした学習を行う。それに先立って、プロジェクトの立案や管理方法について学ぶ。またグループ・プロジェクトで検討した内容を課題解決に繋げて実践し、その成果を発表するプレゼンテーション能力も問う。この科目は、情報セキュリティのさまざまなトピックについて複数の担当教員がオムニバス形式で講義や実習を行うものである。全30週のうち、2週分については、企業で情報セキュリティ教育に携っていた者が担当する。					
授業の進め方・方法	前学期は、地域学とも連携して、様々な課題を解決するためのブレインストーミング、プロジェクトテーマの立案、調査を行い、課題解決プロジェクト実施のための準備を行う、後学期は、プロジェクトを実践するため、地域協働演習のグループもしくは各研究室に参加し、主体的に課題解決を実践しながら研究・開発能力を身につける。					
注意点	前学期はグループプロジェクトの検討・準備に関する発表とレポート(60%)および自己評価・相互評価(30%)、計画書等の提出物評価(10%)、学年末は前学期評価を50%とし、後学期のプロジェクト実践に関する発表とレポート(30%)および自己評価・相互評価(15%)、計画書等の提出物評価(5%)として総合的に評価する。合理的な理由のない欠席は減点する。前学期評価は学習・教育到達目標(F)の評価基準に、後学期評価は学習・教育到達目標(C)の評価基準にする。技術者が身につけるべき専門基礎として、実習内容とともに主体的な学習への取り組みや、問題解決への企画・立案・実践・報告能力を、到達目標に対する達成度で評価する。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	インターンシップ先を調査し、志望理由書を作成する。		インターンシップ先を選定し、志望理由書を作成できる。	
		2週	インターンシップ先を調査し、志望理由書を作成する。		インターンシップ先を選定し、志望理由書を作成できる。	
		3週	地域学と連携してプロジェクト管理手法について学ぶ。		プロジェクト管理手法について、理解する。	
		4週	地域学と連携してプロジェクト管理手法について学ぶ。		プロジェクト管理手法について、理解する。	
		5週	地域学と連携してプロジェクト管理手法について学ぶ。		プロジェクト管理手法について、理解する。	
		6週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。		プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。	
		7週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。		プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。	
		8週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。		プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。	
	2ndQ	9週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。		プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。	

		10週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。	プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。
		11週	プロジェクト学習：プロジェクトテーマの提示とグループ分けを最初に行う。グループ毎にプロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施する。適宜、プロジェクトのアドバイザー教員がレビューを行う。	プロジェクトの計画・目標の設定を行い、立案した計画にもとづき調査・設計・事前準備を実施できる。
		12週	地域学やテクニカルライティングと連携して、プレゼンテーションの手法やレポートの組み立て方について学ぶ。	プレゼンテーションの手法について、理解する。
		13週	地域学やテクニカルライティングと連携して、プレゼンテーションの手法やレポートの組み立て方について学ぶ。	プレゼンテーションの手法について、理解する。
		14週	発表：グループプロジェクトの成果を発表する。	グループプロジェクトの成果を発表することができる。
		15週	発表：グループプロジェクトの成果を発表する。	グループプロジェクトの成果を発表し、レポートとして提出することができる。
		16週		
	後期	1週	校外実習の成果を報告する。	校外実習の内容を報告できる。他者の校外実習の内容を理解できる。
		2週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		3週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		4週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		5週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		6週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		7週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		8週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。	前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進めることができる。
		4thQ	9週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			10週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			11週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			12週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			13週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			14週	地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクト：前学期に事前準備したプロジェクトもしくは各教員から提示された研究テーマに関して、その到達目標に沿って指導教員と相談しながら主体的に研究を進める。
			15週	発表：地域協働演習もしくは研究室でのプロジェクトの成果を発表する。
		16週		グループプロジェクトの成果を発表し、レポートとして提出することができる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	その他の学習内容	少なくとも一つの具体的なコンピュータシステムについて、起動・終了やファイル操作など、基本的操作が行える。	4	

				少なくとも一つの具体的なオフィススイート等を使って、文書作成や図表作成ができ、報告書やプレゼンテーション資料を作成できる。	4	
				少なくとも一つのメールツールとWebブラウザを使って、メールの送受信とWebブラウジングを行うことができる。	4	
				コンピュータウイルスやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	3	
				コンピュータを扱っている際に遭遇しうる脅威に対する対策例について説明できる。	3	
				基本的な暗号化技術について説明できる。	3	
				基本的なアクセス制御技術について説明できる。	3	
				マルウェアやフィッシングなど、コンピュータを扱っている際に遭遇しうる代表的な脅威について説明できる。	3	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

			収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			あるべき姿と現状との差異(課題)を認識するための情報収集ができる	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
			複数の情報を整理・構造化できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				特性要因図、樹形図、ロジックツリーなど課題発見・現状分析のために効果的な図や表を用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				課題の解決は直感や常識にとらわれず、論理的な手順で考えなければならないことを知っている。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				グループワーク、ワークショップ等による課題解決への論理的・合理的な思考方法としてブレインストーミングやKJ法、PCM法等の発想法、計画立案手法など任意の方法を用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				どのような過程で結論を導いたか思考の過程を他者に説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				事実をもとに論理や考察を展開できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				結論への過程の論理性を言葉、文章、図表などを用いて表現できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でどのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でどのように活用・応用されているかを認識できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後8,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

評価割合							
	試験	発表	自己評価・相互評価	計画書・週報等の提出物・取り組みの状況	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	60	30	10	0	0	100
基礎的能力	0	10	10	10	0	0	30
専門的能力	0	20	10	0	0	0	30
分野横断的能力	0	30	10	0	0	0	40